

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンターはくほう		
○保護者評価実施期間	R7年10月6日		～ R7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49人	(回答者数) 45人
○従業者評価実施期間	R7年10月6日		～ R7年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	病院併設の事業所のため、緊急時対応に安心感がある。	重度の障害や難病指定を受けている児童への緊急時対応はマニュアル化している。アレルギー対応も情報共有している。避難訓練、災害訓練など年2回開催。	緊急時対応は随時、情報共有を繰り返し最善な状態を保てるようにする。食する物への配慮は欠かせない。避難訓練、災害訓練に加え不審者対応や災害に使用する物の紹介・体験等でいつでも対応できるスキルを身に付けていく。
2	PT.OT.ST、保育士、児童指導員等、専門性に特化している。多職種連携で個に的確な支援を提供するため協働している。	多職種、立場、目線が異なるスタッフがいるということで個を取り巻く環境を踏まえた支援の方向性を議論している。個が将来たくさんの選択肢の中で、自分が自分であることができる、生きやすい選択ができるように寄り添いながら療育している。	将来の選択肢がどのようなところがあるのか、教育機関や行政との連携も密とし、情報提供していけるようにする。個の現状把握、これからの課題抽出、そこへのサポート等多職種で共有、実践へとつなげていく。
3	季節の行事、毎日のレクリエーションの充実。外出、外食の経験を重ね、社会性を身に付ける。簡単なおやつ作り、おにぎり作りなど生活の質の向上や販売を通じた金銭のやり取りなど自立に向けた経験ができる。将来の選択肢が増える。	季節の行事はとにかく楽しむことを優先。毎日のレクリエーションは簡単なルールを守り、勝負して様々な気持ちを経験したり、協力する、団結するなど他者との関わりを大切にしている。また、他事業所との触れ合いを重ねることが一つでも増える様に、自立に向けた活動で自己肯定感の向上を図っている。	支援を少しずつ減らしていけるよう、個の思い、行動に寄り添い、自分でできたと満足できるような経験をたくさん積み上げていけるようにする。そのために日々の準備や振り返りなど重視し、様々な場面で対応できるスキルを個に学び、習得していけるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	道路沿いに施設があり、車の通りも多い。救急車等の騒音もある。	病院と併設しているため、仕方ない。強みの方が大きい。	送迎時は児童が危険にならないように、複数で手をつないで行くなど配慮する。
2	送迎希望者が増え、送迎に費やす時間を要する。送迎車、送迎者の手配の準備に困惑する。	保護者の就労環境の構築には協力したい。しかし、送迎に人、時間を費やしているのも事実である。	保護者と協力しながら、子どもたちが生きやすい環境を整えていきたい。
3			